

時事新報定價 時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價 (附外送送には此他後に) 一號 貳錢五厘〇一箇月 前金五拾錢〇三箇月 前金壹圓四拾五錢〇六箇月 前金貳圓八拾五錢〇一箇年 前金五圓六拾錢〇月曜日休刊 (此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ)

時事新報派送料 一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山津、南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を経て郵送する歐洲各國 一箇月 金六拾錢

本社(寄稿)に付 東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を擴張するより各社同一の記事を掲ぐるものと算らず

外國航路の保護

日本郵船會社が内國の綿織紡績聯合會社と契約して開始したる孟買航路の始末以前記したる如き事情にして約定期限の二箇年間は必ず繼續するものとならん

し航路漸く擴張して競争も亦隨て漸く大ならざるを得ず孟買航路に於ける一の彼阿會社との競争の如きは事

の小さなものと云ふ可し抑も海外航路の擴張は海國の急務にして國力を以て其發展を保護せざる可らず

官報

勅令 明治二十七年度歳出豫算中第一豫備金ヲ以テ補充セ得ヘキ費途ノ件ヲ裁可シ在ニ之ヲ公布セム

明治二十七年歳出豫算中第一豫備金ヲ以テ補充セ得ヘキ費途ノ件ヲ定ム

在外公館地所家賃料 在外公館雜費 在外公館通信料 在外公館印刷費 在外公館其他費

雑報

日本鑛鐵會社再度の總會 日本鑛鐵會社にては過日同會社の再新案に付き總會を開きたるも出席

東海道線路の故障

一昨日午後四時頃東海道鐵道線路中の山北小山間の石垣破壊して軌道の上に落ちたるにより直に取除に着手せしむ夫が爲め同夜九時

間々田停車場 停車場は今度日本鐵道設立たるが去る一日

日本銀行の建 日本銀行は今より

和歌山四十二 四十三國立銀行資

浪花電燈會社 市内の線路は空架及

大坂電話交換 立の際には需用者先